

『部活動改革』
笑顔あふれる町づくり！

「部活動の地域移行」??

教職員の働き方改革？

学校の先生が楽しただけじゃないの？



「部活動の地域移行」??

学校の問題だから、

教育委員会担当職員が
問題？

、頭を抱えて悩み苦しむ

「部活動の地域移行」??

『地域移行』
≠
「受け皿」探し

「部活動の地域移行」

中学生年代を中心とした、
子どもたちの豊かな成長のための
環境整備の再構築

子どもたち、地域の皆さんの「笑顔」を思い浮かべながら、
「みんなで」アイデアを出し合い、語り合い、...
うきうき、わくわくする活動を！

昨今の部活動で一般的に「課題」と言われているものは？

- ➡ 少子化や専門の先生の不在による種目数の激減
- ➡ 教職員の過剰な負担 （そもそも正式な業務ではない）
- ➡ 勝利至上主義
（そもそも「何か結果を出すべき」「ゴールを作る」世代ではない）
- ➡ 過度な練習
- ➡ 受け身の活動
- ➡ 限られた集団

スポーツだけではない。吹奏楽部なども。。。

「子どもたちの成長にとって、豊かな環境とは？」

- ① A「毎日練習」 or B「週2～3回」
- ② A「単一種目」 or B「複数種目」
- ③ A「スポーツだけ」 or B「ピアノも野球も」
- ④ A「がっつりレギュラー固めて優勝！」
or B「みんなに実践経験」
- ⑤ A「大人の言いなり」 B「子どもたち自ら活動を創る」
- ⑥ 「毎週毎週大会」 ○ or ×
- ⑦ A「家で一人でゲーム」 or B「仲間同士で身体活動」
- ⑧ そもそも、これまでの子どもたちの活動の選択肢は？？
種目・世代・指導体制 etc...

「より豊かな環境」

『新しい地域でのカタチ』では。。

▶ ☆ 多様な指導体制の構築

- ▶ 「より技術向上が望めたり」「より種目（活動）の魅力を感じたり」できる
- ▶ 可能性が出てくる。

▶ ☆ 「次」（将来にわたり）へ繋がる活動の構築

▶ ☆ 「今までやっていなかった子たち」も参加できる活動の構築

- ▶ ☞ 種目数や活動形態等の見直し

▶ ☆ 「やりたくてもできなかった子たち」も参加できる環境の構築

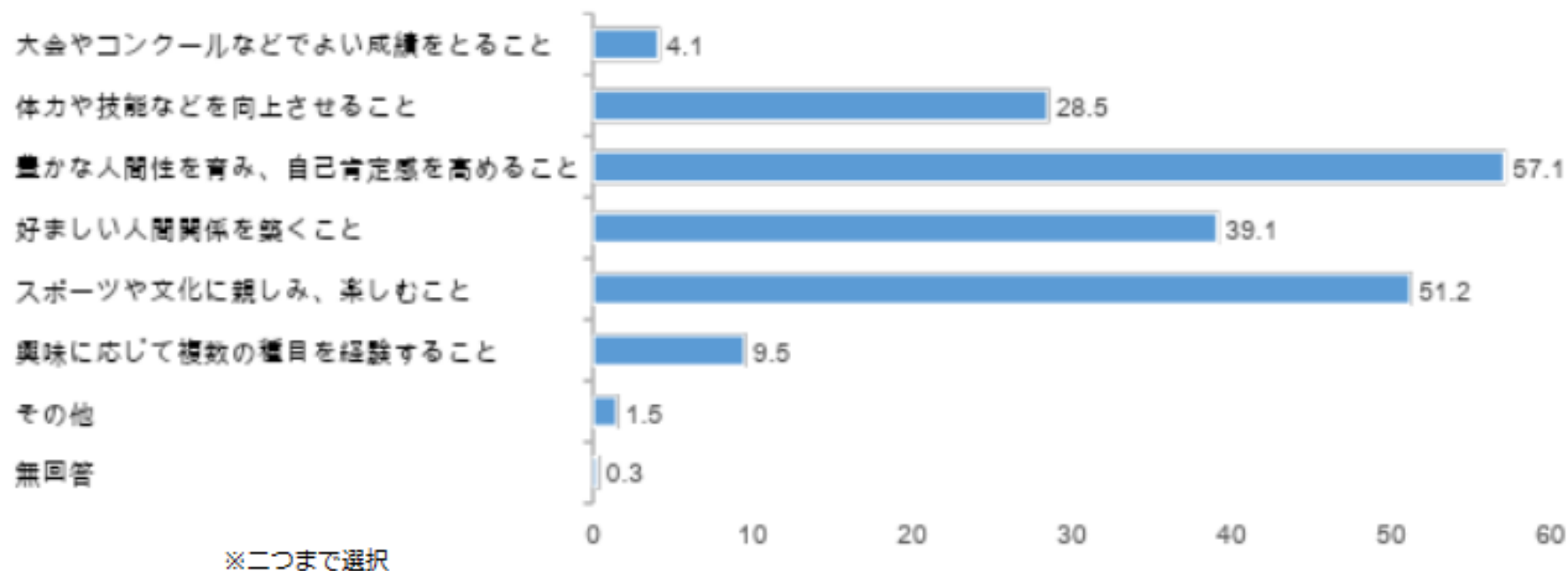
- ▶ ☞ 金銭面の補助等の見直し ※町長部局も

▶ ☆ 生徒自身が自主的に企画運営

▶ ☆ 地域あげての多世代交流

調査地点 : 北海道全域
 調査対象 : 道内に居住する満18歳以上の個人
 標本数 : 1500サンプル
 地点数 : 150地点
 調査期間 : 令和4年(2022)年9月
 有効回収数 : 860 (57.3%)

中学校の部活動に求めるもの (複数回答)



「豊かな人間性を育み、自己肯定感を高めること」が最も多く57.1%、次いで「スポーツや文化に親しみ、楽しむこと」が51.2%
 一方、「大会やコンクールなどで良い成績をとること」は4.1%

そもそも、小学生⇒中学生への繋がりは??

ある町の文化・スポーツ少年団

ジュニア
吹奏楽団

柔道
少年団

野球
少年団

剣道
少年団

サッカー
少年団

陸上
クラブ

スケート
少年団

スキー
クロスカン
トリー

バドミ
トン
少年団

水泳
少年団



学校部活動では??

「学校部活動の地域移行」⇒従来の『部活』ではなくなる

この地域の青少年たちへの
『より豊かで』
健全な活動の創造



どんな地域にしていきたいのか
「地域で子どもたちを育てる」という
『地域づくり』の視点

★指導者探しについて★

★先生はもう関係ないの??

★各自治体職員の皆さんのチカラは?

☆今後「兼職兼業」がカギ!

★本当に地域にはいないの?

⇒活動形態の見直しにより可能になるかも

★地域にいなければ?

・外部招聘 ・オンライン ・そもそも絶対に必要か

「地域で育つね」



学校

子どもたち
地域の環境を
どうしていくか



保護者

地域の各団体

- ★商工会
- ★JA
- ★消防団
- ★CS 等



スポーツ関係団体



「できる」「できない」
ではなく
「どうすればできるか」

行政

役所



合意形成を生み出す会議体の設置を！
(あくまでも主体は「地域」)

受け皿探しではありません！
地域協働による持続可能な環境の再整備を！

地域の関係者が話し合い、子どもたちの可能性が広がる実施主体を

子どもたちの
自主的・主体的な
活動であること

現状の平行移行では
無く、持続可能な
環境の再整備を

課題を洗い出し、
環境に適応させる
こと

体験格差を
無くするための
知恵と支援を

行政・学校・地域
が連携した文化・
スポーツ環境を

ここまでの「まとめ」

①「部活動の地域移行」ではなく、『改革』

- ・「これまでやってきた活動」を、そのまま「地域にスライド」ではない
- ・「子どもたちが豊かに育つための選択肢の一つ」としての活動
- ・「既存の部」をどうする？だけではなく、
これまでできなかった種目や領域ができるようになる → 選択肢が広がる！
- ・アスリート育成は、、、そもそもどう考えるか？
- ・既存の大会参加の見直し。多様な実践や発表経験の場づくりを。
- ・大人の役割を見直す。（必ずしも「技術指導者」であるべきか）

ここまでの「まとめ」

②「中学生年代の環境づくりを通した『まちづくり』の観点」

- ・「施設」「指導者」「指導方法」「活動頻度」「財源」の在り方など、これまでの慣例からの脱却し、再構築する
※例えば、吹奏楽等は、そもそも・・・。
- ・「財源」は地域（民間）のチカラも含めて、多種多様に探索。
※行政で言えば、必ずしも「教育費」とは限らない
- ・ ×「学校、教育委員会の問題」
○「地域の皆さんの力を結集し、地域力を高める機会

ここまでの「まとめ」

③地域移行後、「習い事」ではなく『地域クラブ』

- ・子どもたちには、未来のスポーツ・文化を継承ならびに創造していく「主体者」
→ 自ら活動を生み出し、改善していく
- ・大人の言いなりに活動する「受け身」では育たない、、、そして「続かない」
- ・大人は、一緒に活動を創り上げていく「クラブ仲間」

我が町、我が地域の

「夢のあるストーリー」

を創りませんか！

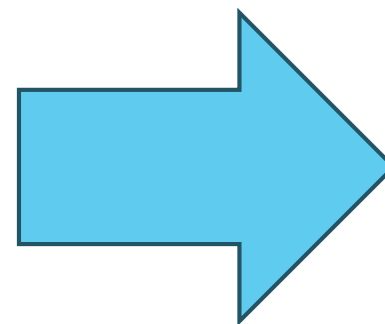
町内トップアスリートに共通することや、地域特性から未来へのストーリーができるのではないか。。。

《共通点》

- ☆ 幼少期より、様々なスポーツを経験（やってみたい心） ×小中学校でガッツリ英才教育
- ☆ ご家庭の方針（自主性を育む&責任を持たせる）
- ☆ 兄弟姉妹や先輩後輩、豊かな仲間

《自治体の施策》

- 👉 スポーツ指導等に、特別な施策があったわけではない
- 👉 子どもの権利に関する条例
- 👉 自主性を大切にした学校教育



総論へ

公立高校と地域クラブでの 『部活動改革』

NPO法人幕別札幌スポーツクラブ
&
北海道幕別清陵高等学校

《既存の部活動について》

①「幼小中高等学校一貫指導体制の構築」～「陸上」を切り口に



地域全体で、12年間一貫した指導体制の構築を目指す

合同練習

(高校生も、小学生に「伝える」ことで「主体的に」学ぶ機会に)

【より豊かで、より多くの子が】 「新たなスポーツ環境構築へ」

②「生徒が自ら企画運営。 多世代が参加する新たな部活動創設」

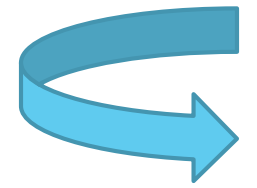
☆様々な要因で、運動部活動に所属していない
(時間・金銭・家庭環境等)

☆所属はしているが、さらに活動を広げたい



《企画運営》生徒が自主的・自発的に行う。

《顧問》 ・コーディネーターやファシリテーター
・危機管理者 ・生徒の活動の支援



地域の誰もが参加できる多世代型に



新しい運動部活動をつくろう！ 2020

2020.12.22

1. 知っている運動部活動
2. 部活動の魅力
3. 運動部活動に入らなかった理由
4. そもそも部活動って何??

日本の学校教育の「部活動」には定義があり、
「部活動は、学校教育活動の一環として、スポーツや文化、学問等に興味と関心をもつ同好の生徒が、
教職員の指導の下に、主に放課後などにおいて「**自発的・自主的**」に行う活動」とされている。

幕別清陵高校生が自ら企画運営する『多世代型運動部活動』を創設

《魅力》

- ☆みんなと一緒に練習したり試合に出たりしたこと
 - ☆勝ったり、目標を達成したりする喜び
 - ☆自分の成績が上がったとき
- など

《やらなかった理由》

- ★やりたい種目がなかった
 - ★時間に追われる、別の事もしたかった
 - ★お金（家庭）の問題
 - ★なんか疲れた
 - ★怒られて辛かった
- など

5. では、新しい部活動をつくってみよう！！

《企画運営》 幕別清陵高校生徒

《顧問》 幕別清陵高校教職員
NPO法人幕別札幌内スポーツクラブスタッフ

《対象》 ・幕別清陵高校生徒

・
・

【場所】

【頻度】

【内容】

【顧問】

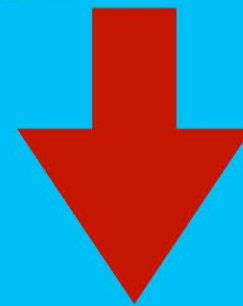
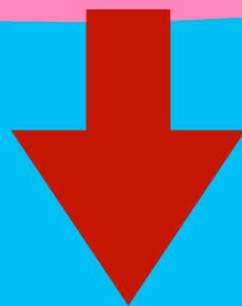
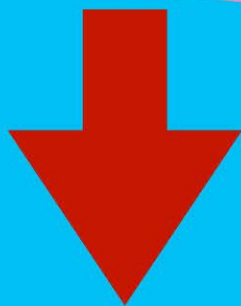
【名称】

【その他】

新部活動設立 「ALL（オール）」

CONCEPT

- 誰でも
- 様々な種目を
- 自分たちで運営（OAR：櫂）

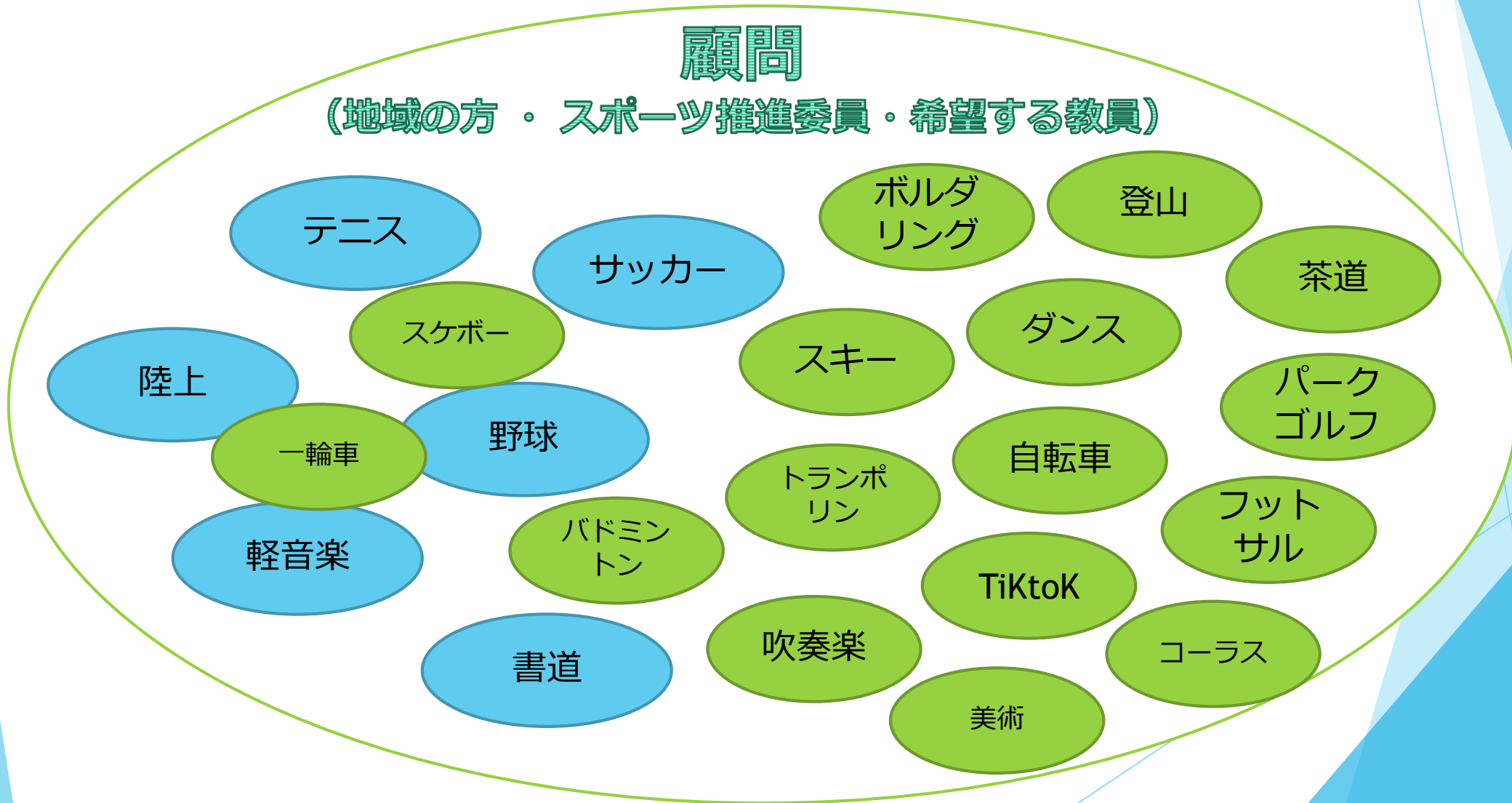


オール部？オールクラブ？ の未来期待図

- ×生徒が希望する活動が無い
- ×新しい活動には「新たな指導者」が必要
- ×団体種目は人数不足でできない

顧問

(地域の方・スポーツ推進委員・希望する教員)



あくまでも、一例です。。。